

全建発第26～144号
平成26年 8月 7日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫



第606回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万2千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人であります。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請にこたえていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第606回建設技術講習会では、公共事業を展開するうえで、構想段階から透明性や公平性を確保し、地域住民との協働（コミュニケーション行政）が重要である。そこで、活力ある経済社会と地域の形成、安全・安心の確立など国民生活に直結する重要な課題に対して、国と地方自治体とが連携を図り、全国的な規模・視点で施策を推進するとともに新しい官民パートナーシップの構築が求められている。一方、インハウスエンジニアのこれからの役割やコンプライアンスの強化を図ることも重要とされている。また、「国土交通省技術基本計画」に盛り込まれた技術政策の基本的な考え方や技術研究開発の推進などを学ぶとともに、社会資本の必要性及びその効果や一般市民に理解を求めるための方策など、公共事業を巡る諸課題とこれからの建設技術者のあり方について最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

全建発第25～257号

平成26年 1月22日

一般社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 田村 秀夫
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成26年度建設技術講習会の活用について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

わが国においては、地震、津波、水害・土砂災害等の自然災害による被害が近年多発しており、南海トラフ地震、首都直下地震への対応等災害対策の重要性が高まっています。また既存のインフラにおいても急速に老朽化が進んでいること、また急速なグローバル化が進展しているなかで、国民の生命と財産を守り、経済の活性化を図るための、社会資本の整備・維持管理を着実に推進することが急務となっています。さらに交通網の発達や情報通信技術の進展、エネルギー情勢の変化等により人々の暮らしも多様化しているため、国土行政を進める上で国民生活に係る幅広い分野を所掌することも重要となっており、時代の要請に応えた施策を展開していくことが求められています。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応じていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

一般社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成26年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会の積極的なご活用についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫



第606回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成26年10月8日（水）～10日（金）、福井市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、公共事業を展開するうえで、構想段階から透明性や公平性を確保し、地域住民との協働（コミュニケーション行政）が重要である。そこで、活力ある経済社会と地域の形成、安全・安心の確立など国民生活に直結する重要な課題に対して、国と地方自治体とが連携を図り、全国的な規模・視点で施策を推進するとともに新しい官民パートナーシップの構築が求められている。一方、インハウスエンジニアのこれからの役割やコンプライアンスの強化を図ることも重要とされている。また、「国土交通省技術基本計画」に盛り込まれた技術政策の基本的な考え方や技術研究開発の推進などを学ぶとともに、社会資本の必要性及びその効果や一般市民に理解を求めるための方策など、公共事業を巡る諸課題とこれからの建設技術者のあり方について最新の情報を得るものとするを目的としています。

なお、本講習会は福井県・福井市の共催（予定）、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：正会員・特別会員・賛助会員 …………… 12,900円
正会員（30歳未満〔全国〕、地元〔開催県内に勤務〕） …… 2,000円
一般（非会員） …………… 17,900円
※昼食の斡旋はありません ※聴講のみの参加は可能です
※正会員（30歳未満、地元）は割引価格のため取り消しはできません

③現場研修料：8,400円〔うち昼食代1,200円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 **0311142**
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「606」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成26年9月19日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成26年9月26日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成26年10月3日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

第606回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）日程 ～地域との協働、技術開発、公共事業を巡る諸課題等～

一公共事業を展開するうえで、構想段階から透明性や公平性を確保し、地域住民との協働（コミュニケーション行政）が重要である。そこで、活力ある経済社会と地域の形成、安全・安心の確立など国民生活に直結する重要な課題に対して、国と地方自治体とが連携を図り、全国的な規模・視点で施策を推進するとともに新しい官民パートナーシップの構築が求められている。一方、インハウスエンジニアのこれからの役割やコンプライアンスの強化を図ることも重要とされている。また、「国土交通省技術基本計画」に盛り込まれた技術政策の基本的な考え方や技術研究開発の推進などを学ぶとともに、社会資本の必要性及びその効果や一般市民に理解を求めるための方策など、公共事業を巡る諸課題とこれからの建設技術者のあり方について最新の情報を得るものとする。

会場 …… 福井県民ホール（アオッサ8階）
〒910-0858 福井市手寄1-4-4 TEL0776-87-0003(代)

(1日目)		平成26年10月8日（水）		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	(一社)全日本建設技術協会長	松田 芳夫	
13:00		福井県知事 福井市長	西川 一誠 東村 新一	
13:00 }	新時代における公務員技術者の役割と使命	(一社)全日本建設技術協会長	松田 芳夫	
13:30				
13:40 }	これからの暮らし・インフラ・技術	(一財)国土技術研究センター 理事長 芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科 客員教授	谷口 博昭	
15:10				
15:20 }	【地域事業の紹介①】 中部縦貫自動車道建設事業について ～福井・大野間の供用開始に向けて～	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長	青野 正志	
15:50				
15:50 }	【地域事業の紹介②】 野外恐竜博物館について ～キッズランド構想の実現に向けて～	福井県土木部建築住宅課 営繕室長	松本 正輝	
16:20				
「参加者同士の交流・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (17:30～19:00(予定))		ユアーズホテル福井 4階「芙蓉の間」 TEL 0776-25-3200		
(2日目)		10月9日（木）		(敬称略)
9:40 }	これからの社会資本における品質確保について	国土交通省大臣官房 技術調査課長	田村 秀夫	
10:40				
10:50 }	【特別講演】 恐竜の学術的知見を活かした遊具開発 ～恐竜博士の熱い挑戦～	福井県立恐竜博物館 特別館長	東 洋一	
11:50				
13:00 }	今後の技術研究開発の推進 ～今後の技術戦略～	国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術政策分析官	野口 宏一	
14:00				
14:10 }	建設人のための公共事業復権の5つのシナリオ ～着実な社会資本整備への国民的コンセンサスを 定着させるために～	(公財)日本道路交通情報センター 副理事長	藤本 貴也	
15:10				
15:20 }	社会資本整備とコミュニケーション	筑波大学システム情報工学研究科 教授	石田 東生	
16:20				
16:20 }	閉会のあいさつ	福井県建設技術協会長 (福井県土木部技幹 (防災・特定事業))	竹内 成和	
(3日目)		10月10日（金） 【現場研修】		
J R 福井駅東口（東大通り）（8:30）出発				
→ 中部縦貫自動車道建設事業（下車説明） → 勝山駅前広場整備（下車説明）				
→ 野外恐竜博物館建設工事（下車説明） → 昼食（勝山市内）				
→ 六間通り整備事業（下車説明） → J R 福井駅（15:30）着後解散				
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。				
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。				

第606回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 中部縦貫自動車道建設事業

..... 大野市中津川～福井市玄正島町

国道158号中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に福井県福井市に至る延長約160kmの高規格幹線道路であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図り、文化・観光資源を活かした地域振興や産業経済の発展を支援する高規格幹線道路(自動車専用道路)です。



このうち福井県内を横断

する永平寺大野道路は、大野市中津川～福井市玄正島町に至る約26.4kmの道路で、平成26年4月現在、松岡IC～永平寺東IC間(約3.2km)、及び上志比IC～勝山IC間(約7.9km)が暫定2車線で供用済みです。永平寺大野道路の未開通区間は、北陸道と接続する福井北JCT～松岡出入口までが平成26年度に、永平寺東～上志比までが平成28年度に開通予定となっています。この路線の開通により、災害時における信頼性の高い交通路の確保を図り、災害時における地域間の連携強化を図ります。全線開通した場合は北陸自動車道から中部縦貫自動車道を経て長野自動車道・中央自動車道へ至る、福井県と関東地方(特に東京都)を結ぶ高速自動車交通の最短ルートを成す路線となります。

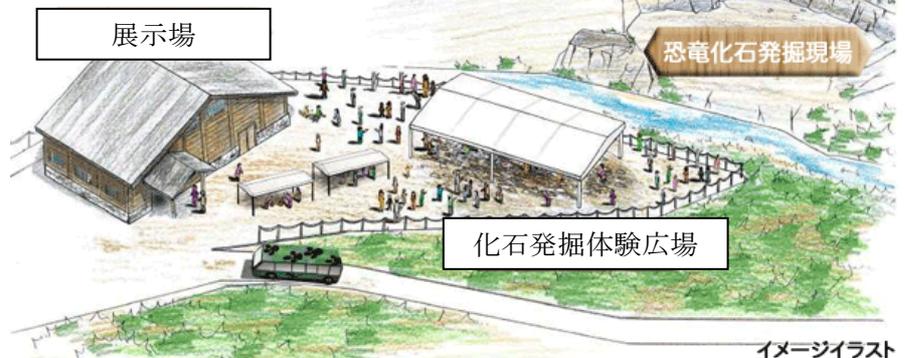
2 野外恐竜博物館建設工事

..... 勝山市北谷町

福井県立恐竜博物館(平成12年度全建賞建築部門受賞事業)は緑豊かな長尾山の自然の地形を極力保存しながら、地形の起伏を積極的に利用するために、建物は敷地の高低差の中に沈み込ませて、山に根付いた自然と一体化した建築としています。今回、北谷町の発掘現場で新たに整備を進めているのは、野外恐竜博物館の建設で、主に発掘作業をメインとした発掘調査の歴史紹介や実物の恐竜足跡化石の展示等を行う施設となってい

野外恐竜博物館

野外恐竜博物館が、福井県勝山市北谷町に誕生します。恐竜博物館からバスで約25分。奥深い山中に設けられた発見と体験のための施設です。すぐ目の前の崖の下では、博物館スタッフがまさに恐竜化石の発掘調査をしています。



ます。施設には、発掘現場の手前での化石発掘体験ができる発掘体験ひろばや発掘現場にできた手取層群の崖面や、発掘現場を観察したり、解説を聞くことができる発掘現場観察などを体験できる施設となっています。なお、施設は、平成26年7月に完成いたしました。

3 勝山駅前広場整備

..... 勝山市遅羽町

えちぜん鉄道は、かつて京福電気鉄道が運営していましたが、平成15年に福井県が第三セクター方式で運営することとなりました。勝山市では、国登録有形文化財に認定されている勝山駅舎を活用し「歴史・文化の匂いを残す“かつやまロマン”」をテーマに周辺まちづくり事業を実施しています。整備は、北陸初の電気鉄道と昔の姿を残す駅舎を中心に、歴史ある趣とノスタルジーを感じる景観づくりとともに、市中心部と観光地等を結ぶ交通結節点としての機能の強化、生活の場としての利便性の高いまち、勝山の玄関口としての魅力的な顔づくりをコンセプトに実施しています。整備は駅前ロータリー広場整備と踏切改良工事を福井県で、勝山駅舎の改修とテキ6展示施設、駅西公園整備を勝山市が実施しています。



整備の中心となる勝山駅舎は、大正3年に京都電灯株式会社によって、京福電気鉄道の開通時に創建されて以降、勝山市の発展に大きく寄与し、平成16年2月に国登録有形文化財に指定されました。駅舎改修にあたっては、文化財の価値を損なうことなく極力創建時の板張りと漆喰の外観に復元しました。駅前ロータリー広場整備では、歩道部及び車道部に無散水融雪装置を設置しています。この融雪装置は、隣接する工場の温排水から熱交換機により熱エネルギーを活用し、不凍液により循環する仕組みとなっています。また、テキ6展示施設のテキ6とは、大正9年に製造された北陸初の電気機関車で、奥越地域と県都福井市を結び、多くの物資を輸送し地域の発展に貢献した車両で、駅前広場に動態可能な状態で保存展示しました。これらの整備は平成20年度から実施され、平成25年10月に完成いたしました。

4 六間通り整備事業

..... 大野市幸町

大野市は、福井県の東部に位置し、人口約3万5千人、面積872.30km²で、市域の87%を森林が占めています。大野市中心市街地は、山々に囲まれた盆地の西部に位置しており、亀山にそびえる越前大野城、東西六条、南北六条の碁盤目状に区切られたまち並みや寺町通り、四百年続くとされる七間朝市など、城下町の景観を現在も残しています。しかし、商店街となっている旧城下町の通りは、歩いている人が殆ど見られないような状況であり、空き家や低・未利用地も目立ってきていました。

そこで、大野市ではその危機感から、大野市中心市街地活性化基本計画の作成に取り組み始め、平成20年7月に基本計画が国に認定されました。主要な事業の一つに六間通り整備が盛り込まれ、そのコンセプトは「だれもが安心で、楽しく賑わいのある六間通り」として整備を進めることとなりました。

- ①シンボル道路として、大野の美しいランドスケープと調和した景観をつくる
- ②碁盤目状の街路構成の中心に位置するため、歩行者と自転車の通過性と回遊性を高める
- ③人が出会い賑わう中心の場所として居心地の良い場所を作る
- ④緊急時にも車両通行が可能な防災道路としての整備

を大きな柱としています。

なお、大野市では昔から、農作業や冠婚葬祭の際、隣近所などでお互い助け合い、支え合うことを「ゆい」あるいは「いい」と言ってきました。この「結」とは「人、もの、情報を結ぶ、結びつける、結ばれ、新たな起点となる」という意味に加え、連携する、協力して事を成す」という思いを込めた言葉です。この言葉から「越前おおの結ステーション」として、地域住民の交流拠点としての機能と観光客など来訪者のまちなかへの回遊性を考慮した施設として、計画の核として整備を進めています。



整備前



整備後

第606回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には福井市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成26年10月7日(火), 8日(水), 9日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルフジタ福井	福井市大手3-12-20 Tel0776-27-8811	シングル	30名	8,100円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第606回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成26年10月8日(水) 17:30~19:00(予定)

(第606回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：ユアーズホテル福井 4階「芙蓉の間」

〒910-0006 福井県福井市中央1-4-8 TEL 0776-25-3200

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※開催時間は変更になる場合がありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

(交流会に参加予定の講師)

- ・(一財)国土技術研究センター 理事長 谷口 博昭 講師
- ・(公財)日本道路交通情報センター 副理事長 藤本 貴也 講師

※講師の都合により変更になる場合があります。

1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。



<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第606回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○をつけて下さい)	年齢		正会員	正会員 30歳未満	(非会員) 一般			予約日に○を記入して下さい		
							10月 7日	8日	9日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 正会員・特別会員・賛助会員 名×12,900円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員」(賛助会員除く) 一般(非会員) 名×17,900円＝ 円 現場研修料 名×8,400円＝ 円 計 円			↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。					

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。